

病院の行事 (9月)

灯りフェスタに参加しました。

9月11日(日)に行われた「港町 宇出津灯りフェスティバル」の灯りコンテストに、看護科が中心となって参加しました。

今年は12団体が参加した中で、去年同じ4位という成績でした。来年も多くの職員が参加し、交流を深めながらイベントを盛り上げられたらと思います。



最近の出来事 (9月)

能登町総合防災訓練に参加しました。

9月25日(日)早朝より、能登町内外の各種公共団体、民間団体、地域住民が参加した防災訓練が実施されました。

訓練場所は、柳田小学校を総合防災訓練の主会場とし、町内各小学校にて、避難所開設訓練や、宇出津新港にて、沿岸訓練も行われました。

当院は、柳田小学校にて、トリアージ訓練及び応急処置訓練に参加しました。

滝川院長、山岸看護師、平野看護師、坂口看護師が参加し、万が一の災害時における備えとなる訓練となりました。



最近の出来事 (9月)

「命のキャラバン」来院

9月29日(木)、臓器移植についての理解を深め移植医療の普及推進を図ることを目的とした「命のキャラバン」運動として、石川県腎友会の方々及び能登北部保健所の島田氏が来院されました。

石川県腎友会の方々は、9月以降の期間に県内の臓器提供協力病院を訪問するもので、平成28年度は、県内24病院の訪問を予定されているとのことでした。

当日は、石川県腎友会会長の森田会長から廣正副院長に、「県内における臓器移植が、より一層普及していくよう、ご支援、ご協力をお願い申し上げます」との石川県知事からのメッセージが手渡されました。



最近の出来事 (10月)

のと緩和ケア研究会 学術交流会

10月1日(土)、コンセールのとにて「のと緩和ケア研究会 学術交流会」を行いました。

のと緩和ケア研究会は、金沢医科大学病院と能登地区の15病医院が協力し、能登地区で「がん」と診断された住民の生活の質を向上させ、併せて緩和ケアの知識を普及させるために活動しています。

今回、当院が共催/協力病院として、上記交流会が行われ、長谷川副院長が座長となり、「在宅でがん患者を支える～訪問看護の立場から～」という内容でシンポジウムを行いました。

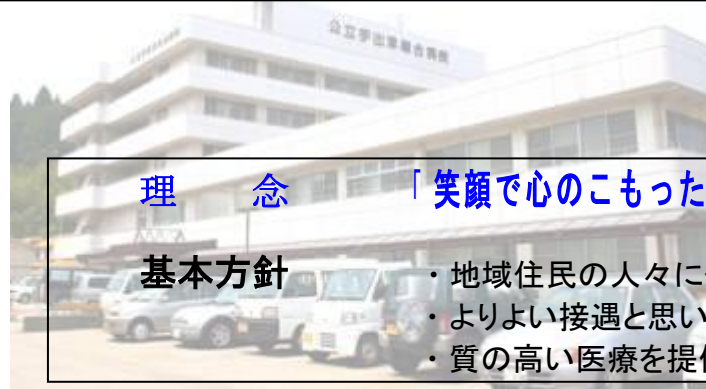
シンポジストには、百万薬剤師長、谷内主任看護師、久田技師が参加しました。



理念 「笑顔で心のこもった良質な医療サービスの提供」

基本方針

- ・地域住民の人々に信頼される病院を目指します
- ・よりよい接遇と思いやりのある病院を目指します
- ・質の高い医療を提供できる病院を目指します



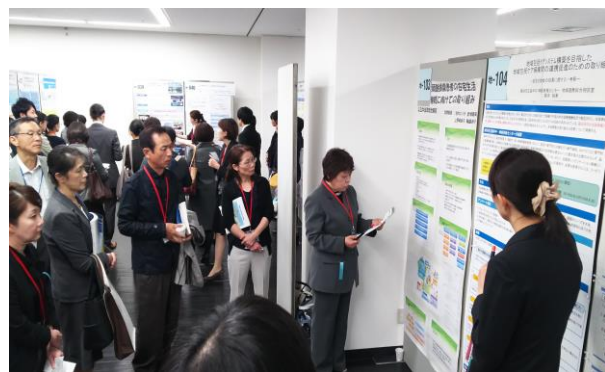
最近の出来事（10月）

第55回全国自治体病院学会 研究発表

10月20日(木)～21日(金)にかけて、富山県富山市の富山県民会館にて、第55回全国自治体病院学会が開かれ、採択を受けた看護研究の発表を行いました。



鍛冶谷看護師が「退院支援スクリーニングシート導入後の退院支援の評価ー導入後の実態調査からー」西看護師が「高齢入院患者の面会に来る家族のニーズ調査」について、谷内主任看護師が「頸椎損傷患者の在宅生活継続に向けての取り組み」について、研究者代表として発表を行いました。



病院の行事（11月）

病院フェスタを開催しました。

11月12日(土)に当院を会場に、「宇出津総合病院フェスタ～翔生 2016 秋～」が行われました。

これは病院が日常生活において身近な存在である事や、病院の役割・機能を知ってもらう事を目的として開催しており、今年で4回目となります。

1階ロビーでは、大正琴の披露や、入院患者や職員と一緒に踊る運動コーナーが行われました。

その他に、糖尿病予防に関する測定や、相談健康チェックコーナーにて、肌年齢チェックや血管年齢チェックが実施されました。

多くの来場者で会場は賑わい、皆さんの健康への意識の高さが伺えました。



病院の行事（11月）

第2回防災訓練を行いました。

11月1日(火)、院内防災訓練を行いました。6月に続いて、今年2回目となった今回の訓練は地震によって、火災、そして津波が発生したとの想定で行われました。

今回は、約70名の職員が参加し、患者を屋上まで担架で搬送したり、消火器の取り扱い体験、重要書類の持ち出しなどを行いました。

立会いを行った能登消防署から、避難完了報告まで、11分の時間を要したと伝えられました。

訓練後、滝川院長より「災害は、いつ発生するかわかりません。いつ起こっても対応できるように日頃からの備えが大切です。また、限られた人数での入院患者の避難搬送でしたが、実際には多くの入院患者を避難させることになるので、万が一の火災の際にも、本日の様に落ち着いて、適切に対応するよう」とのお言葉がありました。



最近の出来事（11月）

病院をブルーにライトアップしました。

11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ病院の玄関と、外の非常灯をブルーにライトアップしました。

インスリンを発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞したフレデリック・バンティング博士の誕生日で、糖尿病治療の画期的な発見に敬意を表して定められた記念日です。年々増え続ける糖尿病の脅威を知っていただき、糖尿病予防に当院も啓発に努めていきたいと思っております。



新任ドクター紹介



ふなき ひろし
舟木 洋

外科診療科長兼
外科医長

平成28年10月
当院着任

病院の行事（12月）

仕事納め式

12月28日(水)、午後5時より、仕事納め式を行いました。

滝川院長より、今年の病院経営の課題や年末年始にかけて健康に過ごすようお言葉がありました。